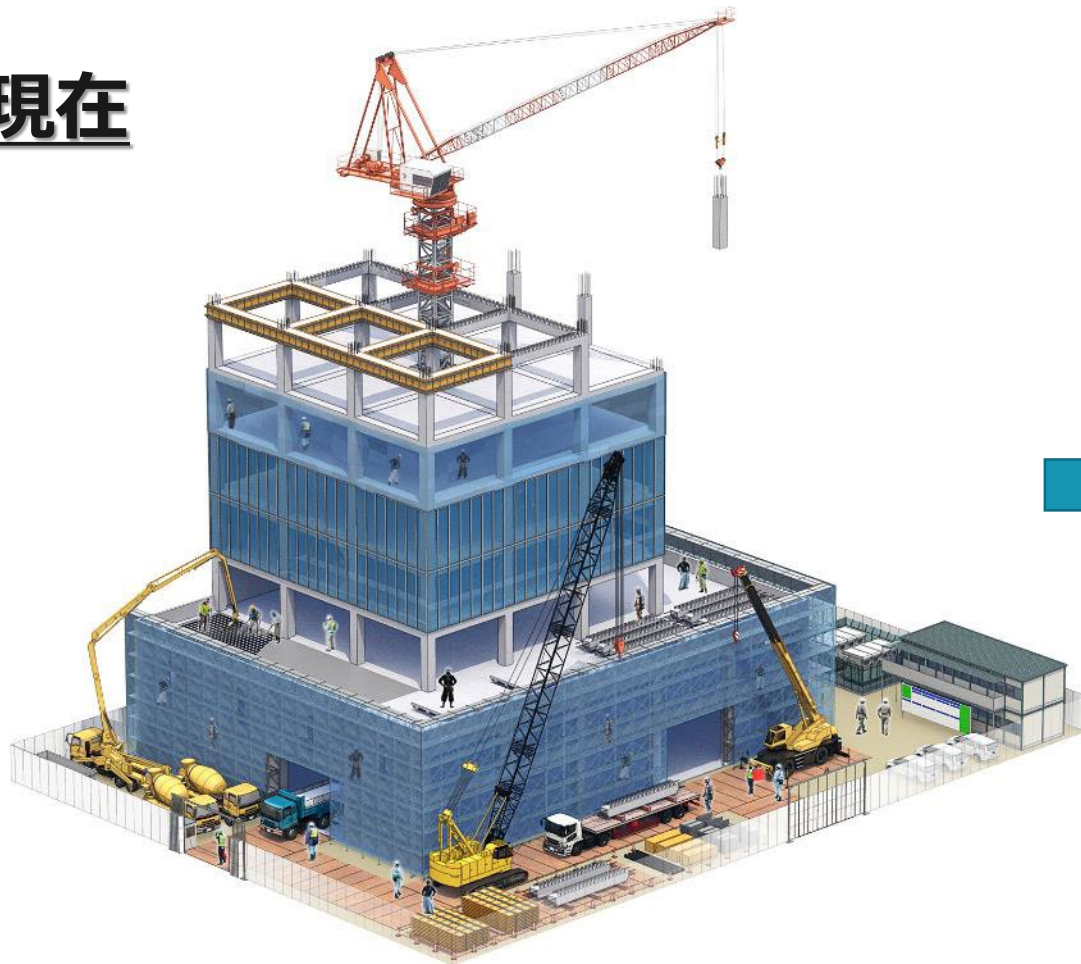
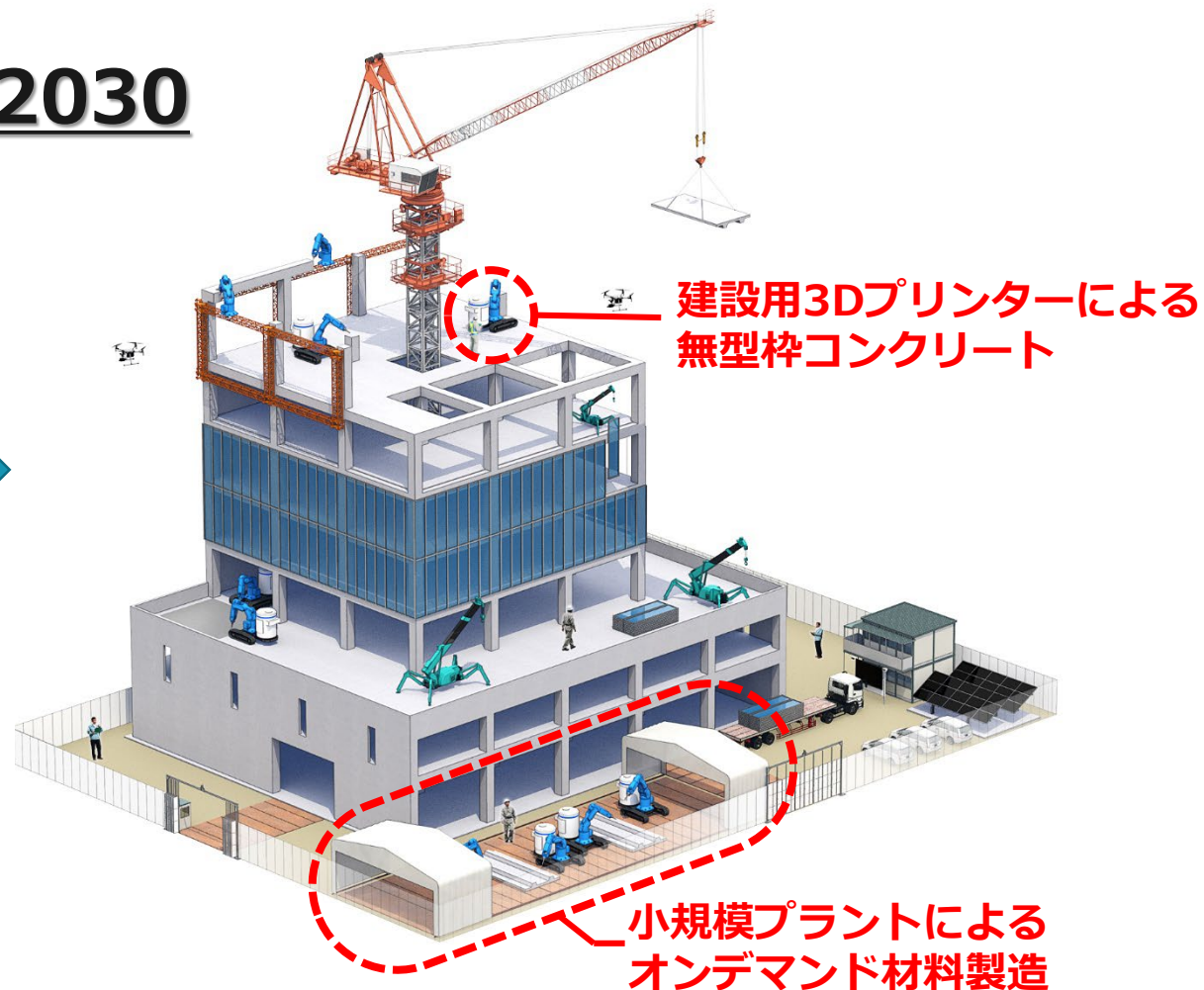


現在



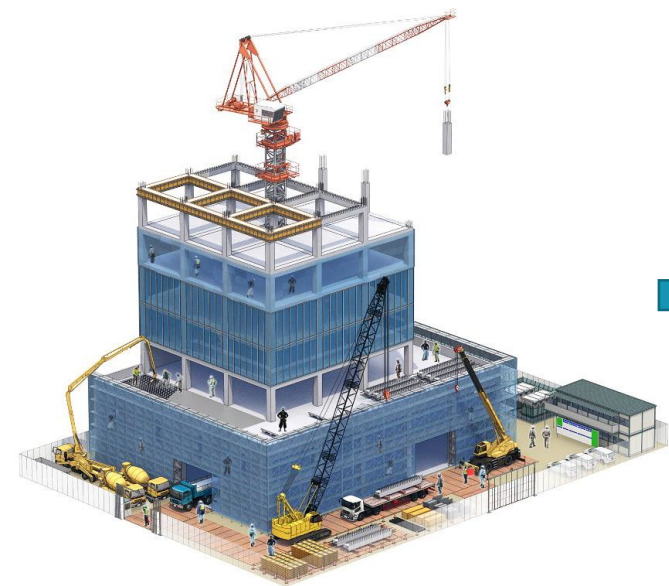
- ・ 労働集約型
- ・ 環境負荷大
(型枠廃棄・資材運搬)

2030



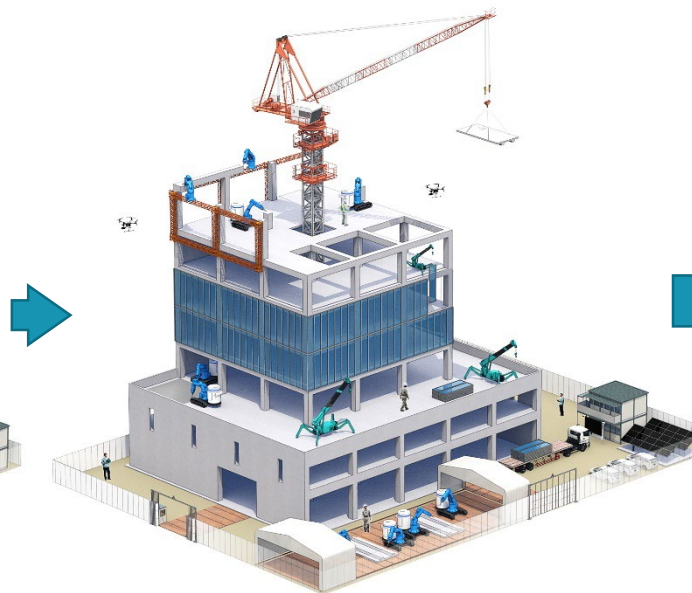
- ・ 建設用3Dプリンター+小規模プラント
→ 省人化・廃棄物削減 / 省運搬による環境負荷低減

現在



- ・ 労働集約型
- ・ 環境負荷大

2030



- ・ 省人化
- ・ 環境負荷低減

2050



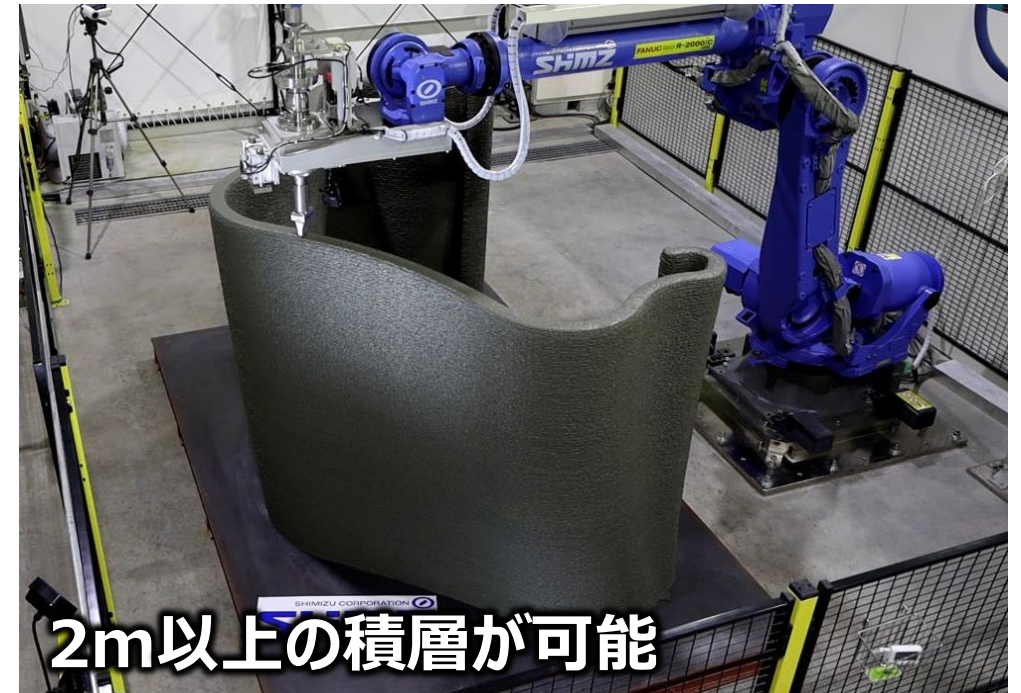
- ・ デジタルコンストラクション
(情報化施工→安全性・自由な造形)
- ・ 環境配慮デザイン
(構造最適化による数量減・環境負荷最適化)

建設用3Dプリンターに使用する材料

特殊モルタル「ラクツム®」

セメント、細骨材（砂）、水、短繊維、混和材などで構成された、繊維補強セメント複合材料

コンクリートから粗骨材（砂利）を除き（=モルタル）ノズル排出時の流動性、品質の安定性を図り、その代わりに短繊維、混和材等を添加し、コンクリート同等の強度・耐久性を持たせている



建設用3Dプリンターに使用する材料

特殊モルタル「ラクツム®」

セメント、細骨材（砂）、水、短繊維、混和材などで構成された、繊維補強セメント複合材料

コンクリートから粗骨材（砂利）を除き（=モルタル）ノズル排出時の流動性、品質の安定性を図り、その代わりに短繊維、混和材等を添加し、コンクリート同等の強度・耐久性を持たせている

